

今月の表紙
日光杯全日本女子中学・
高校生アイスホッケー大会



今月の表紙の写真は、12月21日(金)～24日(月)に行われた第2回日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会における栃木県選抜の勇姿です。

北海道から九州まで、全国から12チームが参加したこの大会。日光の選手を中心とした栃木県選抜は、第3位だった昨年以上の成績を目指し奮闘しました。予選リーグは突破したものの、準決勝・3位決定戦と北海道勢に破れ、惜しくも4位となりました。

リンク上で繰り広げられた熱戦の末、初参加の鉦路選抜が、昨年優勝の苫小牧選抜を決勝戦で破り、見事に初優勝を飾りました。

大会期間中、会場では日光市冬期活性化ネットワークによって、豚汁やおにぎりなどが振る舞われました。また、希望者には日光の社寺の案内も行われました。



初めて訪れた東照宮で案内の方の話を聞き入る、苫小牧選抜の藤永さん(左)と鈴木さん(中央)。

1月4日(金)、県内で一番早いといわれる初市が、鬼怒川温泉駅前広場で開催されました。この催しは、正月から温泉街を活気付けようと2000年から始まったもので、今年で9回目を迎えました。当日は、雪のちらつく寒い日でしたが、だるまや熊手などの縁起物や露店や模擬店などがずらりと並び、地元の方や観光客でにぎわいました。また、温かいおしるこや甘酒が各500名分ずつ振る舞



鬼怒川温泉 初市



大盛況だった、おしるこ甘酒の無料サービス。

われ、訪れた人たちは体を温めながら、鬼怒川温泉での正月を満喫しました。埼玉県から観光で訪れた山内さん夫婦は、「広場にある足湯に入り、おしるこ甘酒をいただきました。おしるこはおもちが軟らかいし、甘酒は濃厚な味でもおいしかったです。また鬼怒川温泉に来ますよ」と笑って話してくれました。



作品の大きさに氷を積み上げ(写真②)、チェーンソーで大まかに形を作り(写真③)、のみで丁寧に仕上げます(写真④)。

① 10日には表彰式が行われ、ホテルニューオータニ東京に勤務する平田浩一さんの作品「大鹿」(写真①)が最優秀賞に選ばれました。



全日本氷彫刻奥日光大会

1月9日(水)・10日(木)、湯元で、第2回奥日光ウインターフェスティバル2008 全日本氷彫刻奥日光大会が開催されました。氷彫刻製作者として世界レベルで活躍している、全国の有名ホテルの調理師の方など26名が参加し、腕を競いました。

チェーンソーやのこぎり、数種類ののみを使い、日暮れから夜を通して製作された作品は、すべてが芸術と呼ぶにふさわしいもので、会場を訪れた人の目を楽しませて



①少しでも上位を狙おうと、ゴール直前で争う中学生チームの最終走者。
②各部門の優勝チームには、賞状や優勝旗、メダルが贈られました。

12月16日(日)、第2回日光市駅伝競走大会が開催されました。大会は、一般の部が日光総合会館をスタートし、市役所本庁をゴールとする7区間(26.8km)、中学生の部が豊岡運動公園をスタートし、市役所本庁をゴールとする6区間(15.3km)がコースとして設定されました。昨年よりも1チーム多い33チームが出場し、大勢の



日光市駅伝競走大会

6チームが出場した一般の部(地区対抗)は今市チーム、17チームが出場した一般の部(オープン)は矢板RCチーム、10チームが出場した中学生の部は今市中学校Aチームがそれぞれ優勝しました。観客が見守る中、たすきをつないで走り抜きました。今市チームの沼尾葉月さん(今市中学校3年生)は一般の部(地区対抗)で第5区を走り、見事区間賞(区間1位)を獲得。前の区間を走った選手がみんな力のある方ばかりだったので、安心して走れました。多少自信はありましたが、区間賞を取れてうれしいです」と話してくれました。

観客が見守る中、たすきをつないで走り抜きました。今市チームの沼尾葉月さん(今市中学校3年生)は一般の部(地区対抗)で第5区を走り、見事区間賞(区間1位)を獲得。前の区間を走った選手がみんな力のある方ばかりだったので、安心して走れました。多少自信はありましたが、区間賞を取れてうれしいです」と話してくれました。

日光市成人式



1月13日(日)、日光市では1,167人の方が成人式を迎えました。5つの会場に分かれて行われた式典には、合わせて899人が出席し、新成人として門出を祝うとともに、誓いを新たにしました。また、会場では、久しぶりに会う友人と懐かしい話に花を咲かせたり、写真を撮ったりする姿があちこちで見られました。



会場には豊に座る本席と、椅子に座る立礼席が用意され、大日本茶道学会「日光会」の



福笑いやお手玉などのコーナーでは、子どもからお年寄りまで笑顔で楽しんでいました。

日光市母沢御用邸記念公園と市国際交流協会の共催で、1月2日(水)、気軽にお茶を楽しむ「オープン初釜」が開催されました。会場となった母沢御用邸には朝から多くの方が訪れ、箏の生演奏が流れる中、抹茶を味わいました。オープン初釜は市内の料亭が行っていましたが、昨年から国際交流協会の行事として、会場を母沢御用邸に移して行っています。

メンバーがお点前を披露しました。また、席に着くまでの待ち合い室には、福笑いやお手玉など昔ながらの正月遊びや、書初めのコーナーも用意されました。横浜市から来た原田恵美子さんは、本席でお点前を堪能。「宿泊したホテルで知って来ました。茶席で抹茶をいただく機会はありませんので、来てよかったです。お正月らしい催しで、身が引き締まりました」と話してくれました。

オープン初釜